

大学研究者の発明と特許

— オブジーボ特許紛争に関連して —



元大阪大学大学院経済学研究科講師
西口 博之

目次

- I. はじめに
- II. 大学等研究公務員と発明
 - 1. 研究公務員と職務発明
 - 2. 医学研究員の地位と特許
- III. オブジーボ特許の発明者
 - 1. オブジーボ発明の成立とその経緯
 - 2. オブジーボ発明と紛争
- IV. オブジーボ特許に係わる紛争
 - 1. 共同研究者間の紛争
 - 2. 特許権者間の紛争
- V. 元大学院生による特許権持分移転訴訟
 - 1. 事件の概要
 - 2. 原告の主張と裁判所の判断
- VI. おわりに

I. はじめに

昨今のコロナ騒ぎで医薬品発明に対する関心が高まっているなかで、最近のノーベル賞受賞者を当事者とするオブジーボ特許紛争は、その一つに同じ研究グループ内での師弟の争い、アカデミックハラスメントと言ったケースが含まれているだけに驚きを隠せないようである。

本稿では、医学分野における発明と特許に関して、最近話題の三つの内外でのオブジーボ特許